

日本経済新聞で、弊社の電子書籍アプリが紹介されました。

2011/06/22

6月22日の日本経済新聞で弊社の電子書籍アプリを紹介していただきました。

電子書籍市場に照準

急拡大で中小にも商機

電子書籍市場の新サービスが相次いでいる。書籍の電子化から配信までを一括して請け負ったり、販売サイトを構築する動きだ。国内電子書籍市場は2014年度に09年度比約2・3倍の1300億円と拡大が見込まれている。ただ電子化のフォーマットが複数存在するなど市場整備はこれから。商機が大きいとみる中小・ベンチャー企業の参入が続く。



アナログトゥエルブが開発したタブレットを使用した電子書籍アプリ

システム開発の28号（東京・文京、大水深也社長）は出版社に対し、本や雑誌の電子書籍化から配信の仕組み構築までを一括して請け負うサービスを6月末に始める。サービス名は「パーチェスプラン」。

28号は書籍が1回ダウンロードされるごとに、配信手数料として25円を受け取る。保有するサー

中小・ベンチャー企業が手掛ける
主な電子書籍関連事業

社名 (本社所在地)	電子書籍関連の主な事業
萩原印刷 (東京・文京)	印刷の技術を使って、印刷物のデータを電子書籍に変換するサービスを開始。紙と電子のセットでの出版も提案
コベック (東京・新宿)	ダウンロードなどの電子書籍配信システムを開発
エーアイ (東京・文京)	電子書籍の読み上げに使う小型の音声合成システムを開発。専用端末への搭載を狙う
ヤッパ (東京・渋谷)	電子書籍を企画・開発するシステムを出版社などに提供。電通と共同で電子化した雑誌の配信サービスも

バーに出版物のデータを格納。小説約1000冊分に相当する2GB（約10億）までは利用料を無料にすることで、裾野を広げる。

システム開発のアナログ・宇佐美進典社長は「価格比較サイトを運営するECナビ（東京・渋谷、伊藤正裕社長）は個人が電子書籍を作成できるシステムを開発し、出版大手のヤッパ（東京・渋谷、伊藤正裕社長）は電子書籍用システムを開発し、詳細を今後話せる。電子書籍用システムを開発する動きも広がっている。LOCUS（東京・渋谷、滝良太社長）はウェブサイトを構築するリッチメディア（東京・新宿、坂本幸敏社長）と組んで企業の採用パンフレットを電子書籍化するサービスを開始する。電子書籍化で企業は印刷や郵送にかかる費用を3分の1程度に抑えられるという。すでに日本生命保険への導入が決まっており、年内に50社の顧客獲得を目指す。

調査会社のインプレスR&D（東京・千代田）によると、米アップルの多機能携帯端末「iPad

クトゥエルブ（東京・新宿、赤松隆社長）は、基本ソフト（OS）の種類に関係なく、電子書籍を閲覧できるソフトを開発。出版社や書籍販売サイトを運営する企業に販売を始めた。スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレット端末に対応するソフトで、12年度に10社への導入を目指す。価格比較サイトを運営するECナビ（東京・渋谷、伊藤正裕社長）は個人が電子書籍を作成できるシステムを開発し、出版大手のヤッパ（東京・渋谷、伊藤正裕社長）は電子書籍用システムを開発し、詳細を今後話せる。電子書籍用システムを開発する動きも広がっている。LOCUS（東京・渋谷、滝良太社長）はウェブサイトを構築するリッチメディア（東京・新宿、坂本幸敏社長）と組んで企業の採用パンフレットを電子書籍化するサービスを開始する。電子書籍化で企業は印刷や郵送にかかる費用を3分の1程度に抑えられるという。すでに日本生命保険への導入が決まっており、年内に50社の顧客獲得を目指す。

たり、自費出版を計画する人が手軽に本を作れるようにする。システムは今秋発売予定。「電子書籍を販売するための、書店アプリも作りたい」（伊藤社長）という。

ただ本格的な成長はこれから。米アマゾン・ドットコムやシャープなどが販売する電子書籍用端末は互換性が低く、紙に書かれた文字を電子化するためのフォーマットも複数ある。

自前で電子書籍のシステムや配信の仕組みを構築するには数百万円かかるという試算もあり、中小出版社には負担が大きい。中小・ベンチャー企業はきめ細かなサービスが必要を繰り返す。